

太子堂地区防災計画

[令和7年修正]

太子堂地区

【太子堂地区防災計画作成団体】

(順不同)

遊びとまち研究会	あんしんすこやかセンター
三軒茶屋銀座商店街振興組合	昭和女子大学
青少年太子堂地区委員会	せたがや災害ボランティアセンター
世田谷消防団第2分団	世田谷ボランティア協会
太子堂一丁目町会	太子堂五丁目町会
太子堂三軒茶屋町会	太子堂下の谷町会
太子堂小学校	太子堂地区ごみ減量リサイクル推進委員会
太子堂地区社会福祉協議会	太子堂地区身近なまちづくり推進協議会
太子堂地区連合町会	太子堂中学校
太子堂2丁目大塚町会	太子堂2、3丁目地区まちづくり協議会
太子堂保育園	太子堂本町会
太子堂ミニコミ紙編集委員会	太子堂4丁目地区まちづくり協議会
太子堂4丁目西山町会	太子堂ワークショップ
中里小学校	なごみ保育園
日赤奉仕団太子堂分団	三宿小学校
民生委員・児童委員協議会	わんぱくクラブ三軒茶屋

目 次

1 太子堂地区の特性	太子堂-1(-36-)
(1)自然特性	太子堂-1(-36-)
(2)社会特性	太子堂-2(-37-)
(3)地域危険度	太子堂-4(-39-)
(4)被害想定	太子堂-5(-40-)
(5)防災資源一覧	太子堂-8(-43-)
(6)防災資源マップ	太子堂-9(-44-)
(7)区民アンケート	太子堂-10(-45-)
2 各団体の防災活動～現在の取組状況～	太子堂-19(-54-)
3 太子堂地区の課題と今後の取り組み	太子堂-26(-61-)
(1)火災への備え	太子堂-26(-61-)
(2)被害状況・安否の確認	太子堂-26(-61-)
(3)避難行動要支援者対策	太子堂-27(-62-)
(4)負傷者等の救出・救護	太子堂-27(-62-)
(5)物資(水や食料、燃料等)の備え	太子堂-27(-62-)
(6)避難所の開設	太子堂-28(-63-)
(7)地域の連携とコミュニケーション	太子堂-28(-63-)

1. 太子堂地区の特性

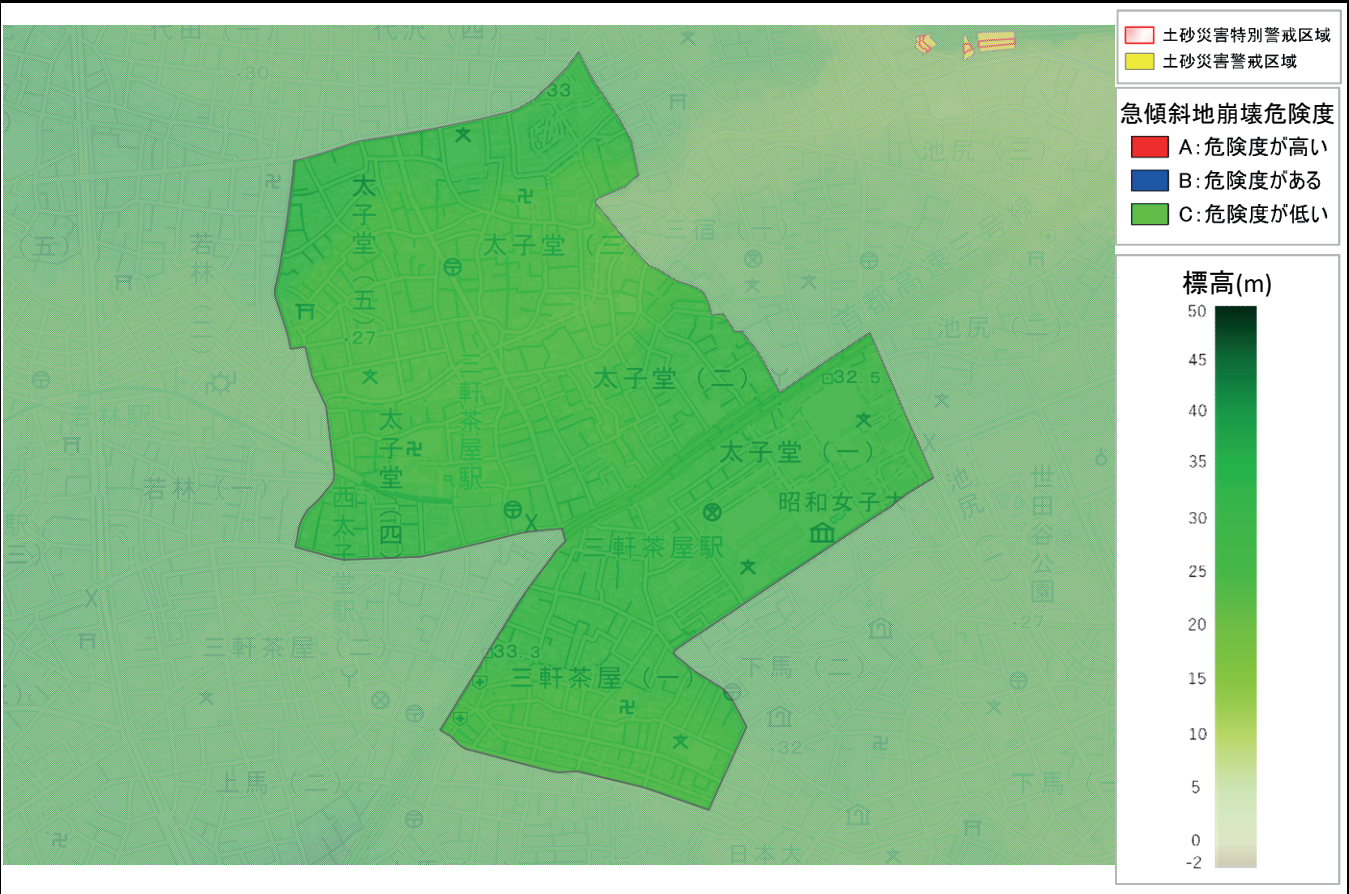
(1)自然特性

面積	1.05	Km ²	最高標高	36.0	m	最低標高	22.9	m
----	------	-----------------	------	------	---	------	------	---

位置



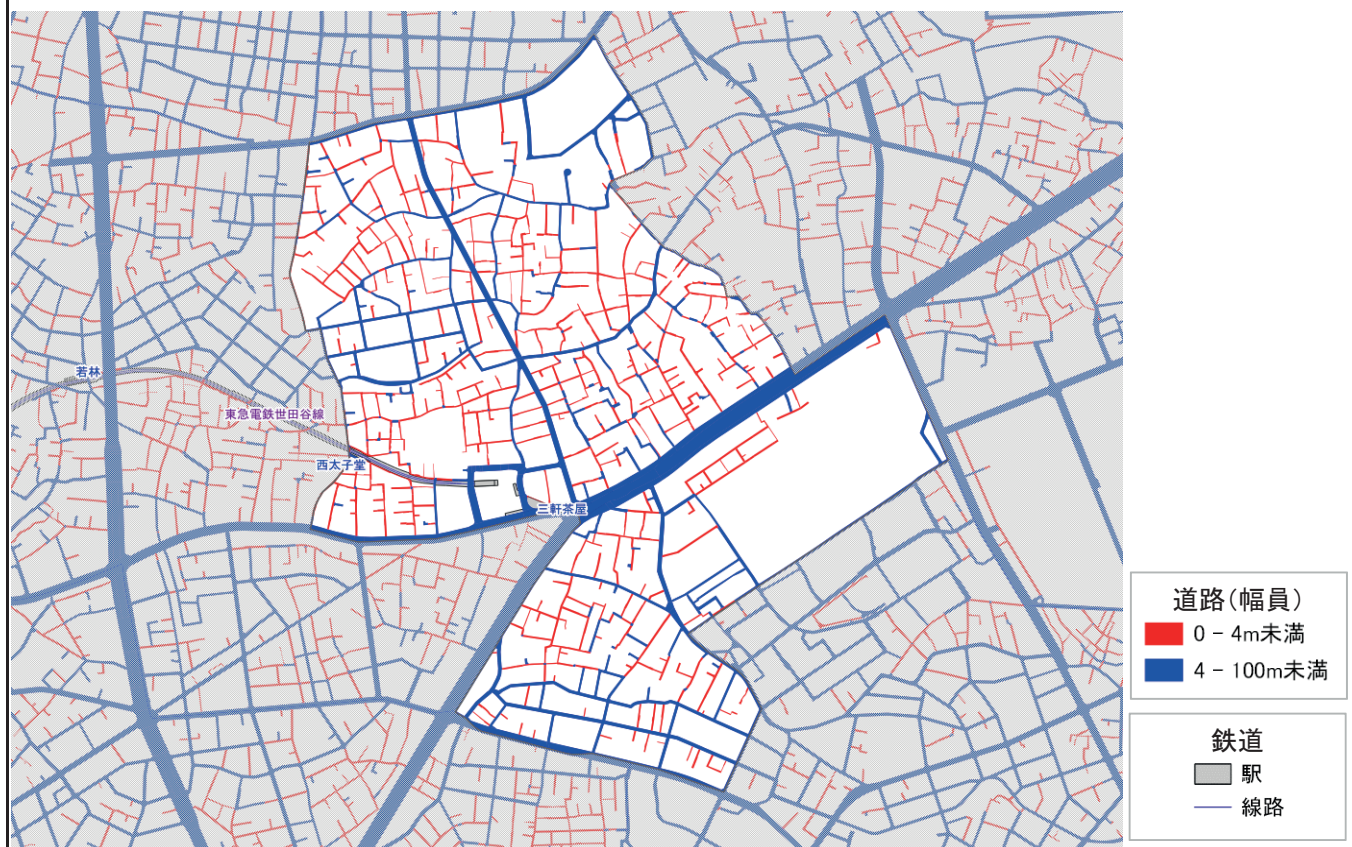
標高・急傾斜地崩壊危険度・土砂災害警戒区域等



(2)社会特性

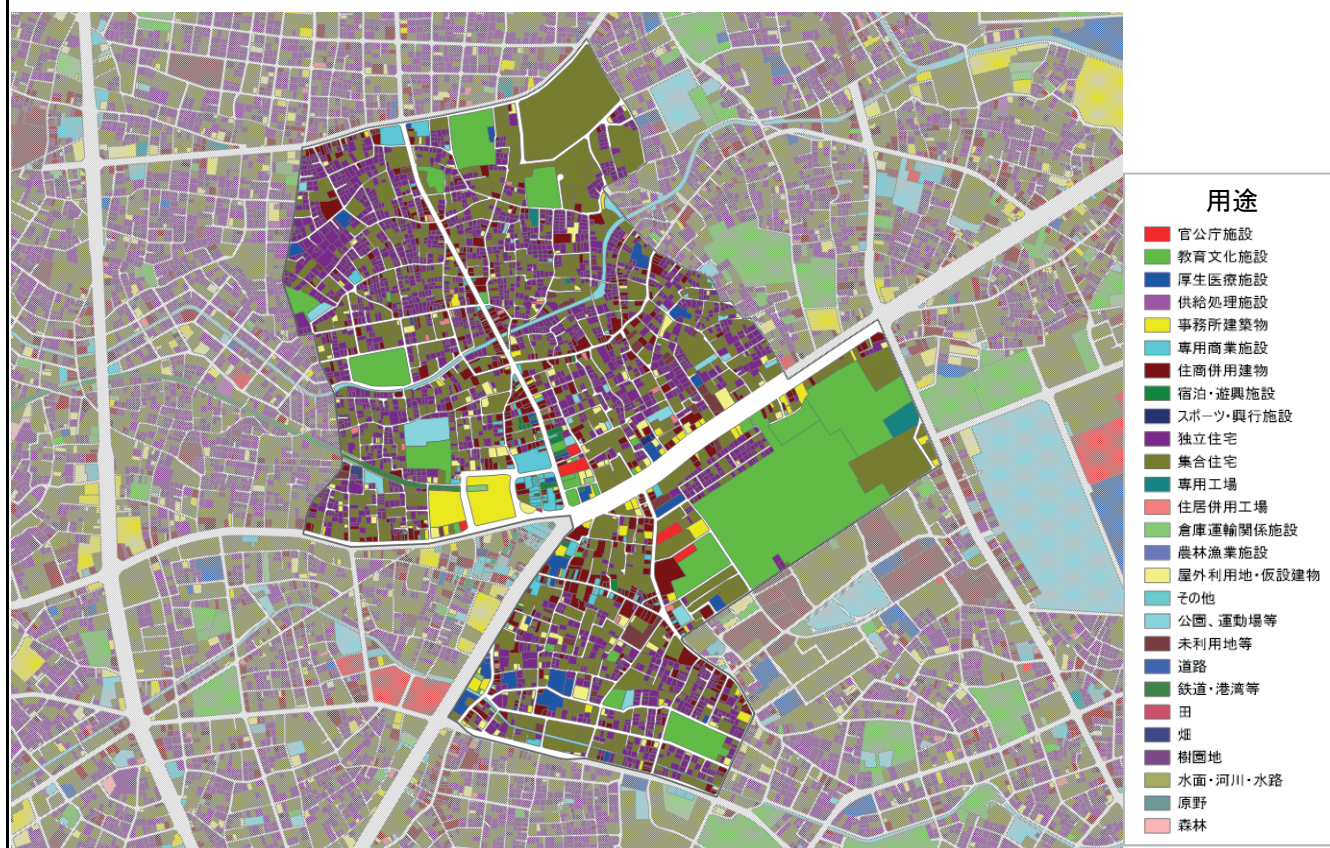
人口	23,827 人	細街路率	54.3 %
世帯数	15,545 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	120.2 棟/Km ²
1世帯あたり	1.53 人	耐火率(建築面積ベース)	74.9 %
若年層数(15才未満)	2,058 人	土地利用(宅地)	77.6 %
若年層率(15才未満)	8.6 %	土地利用(宅地以外)	22.4 %
高齢者数(65才以上)	4,024 人	鉄道駅	東急田園都市線三軒茶屋駅 東急世田谷線三軒茶屋駅 西太子堂駅
高齢者率(65才以上)	16.9 %		
昼間の人口	35,990 人	産業	商業 93.3 %
夜間の人口	25,418 人		工業 6.2 %
昼夜間人口比	1.42 -		農業 0.4 %
町会・自治会数	7 -		

道路・公共交通機関



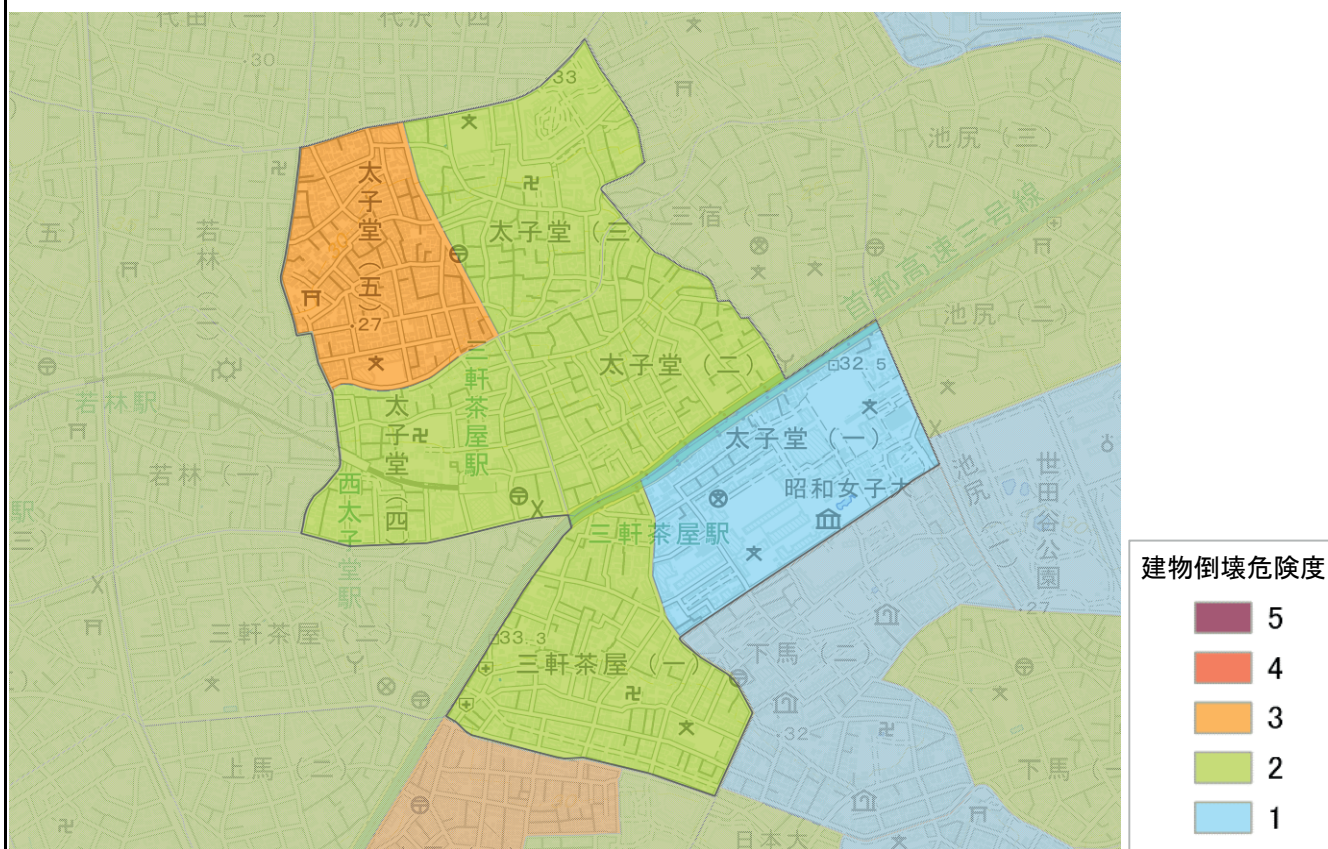
(2)社会特性

産業

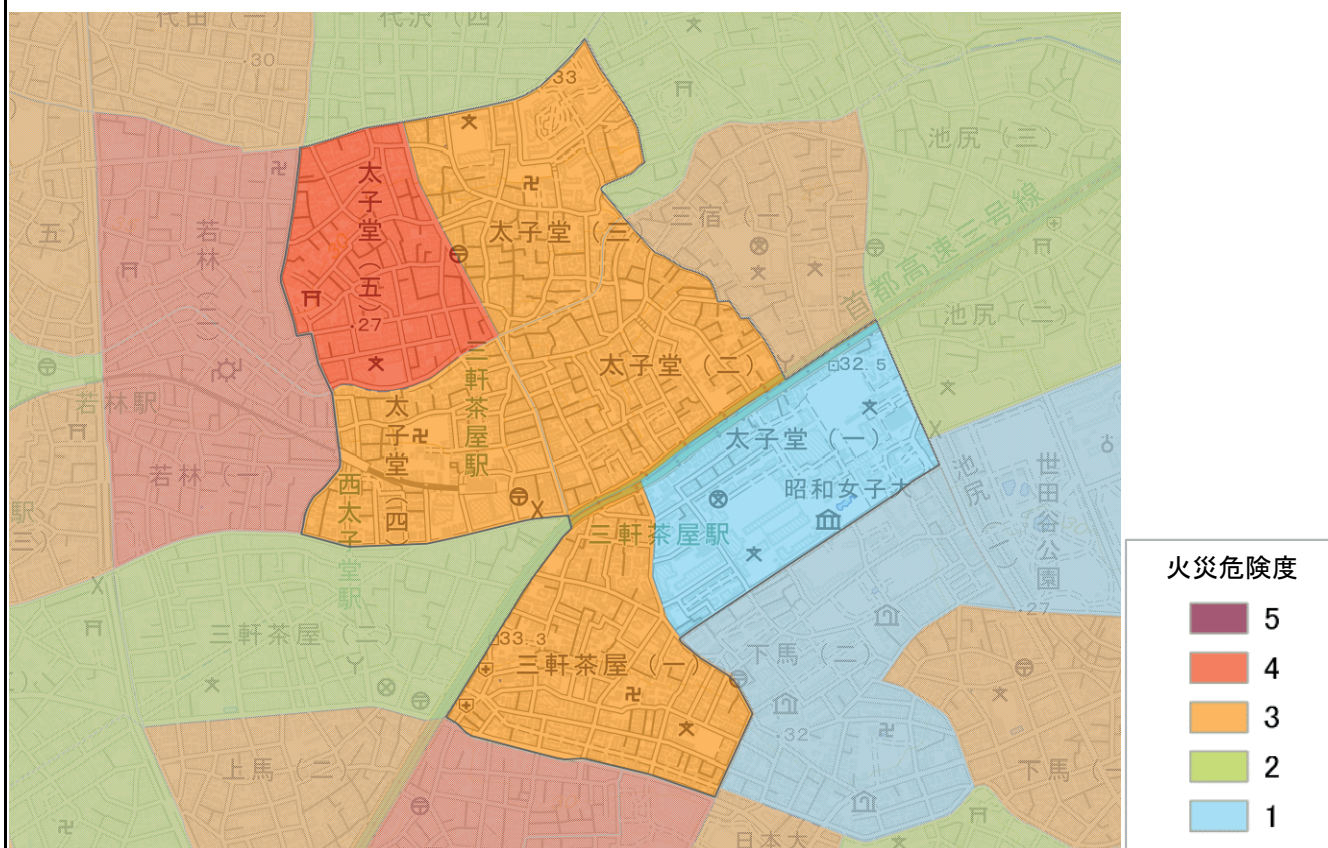


(3)地域危険度

建物倒壊危険度



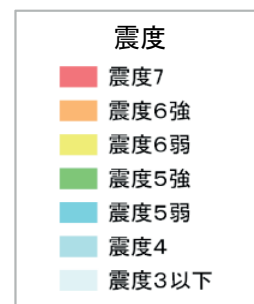
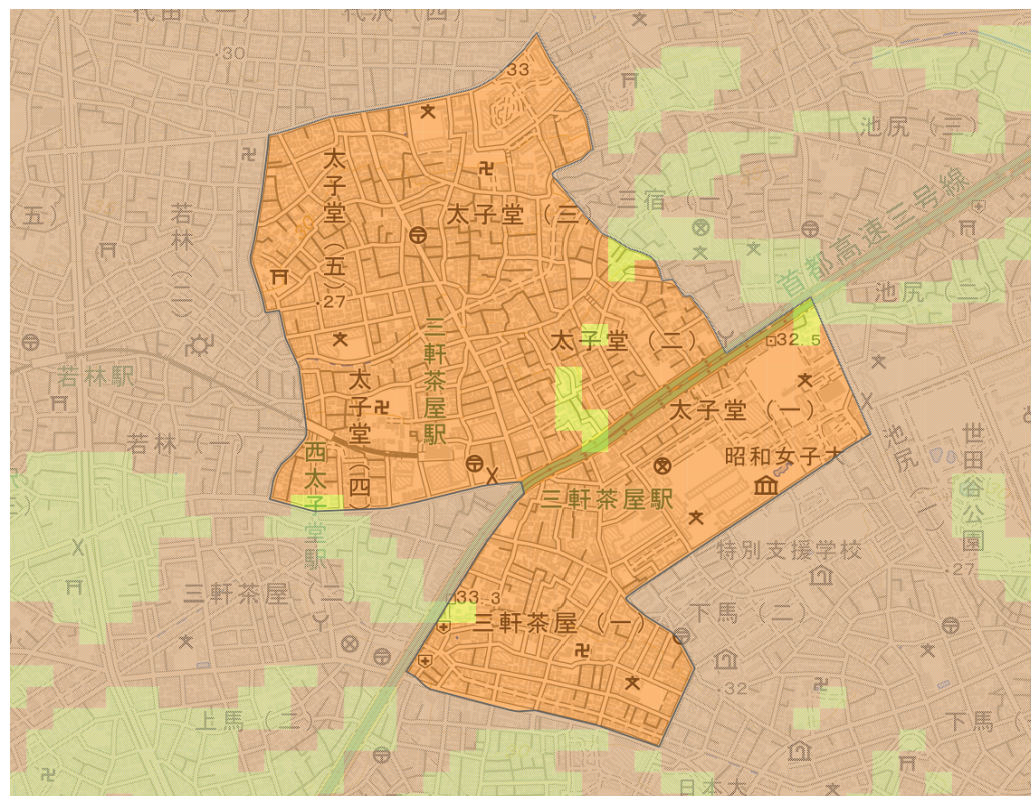
火災危険度



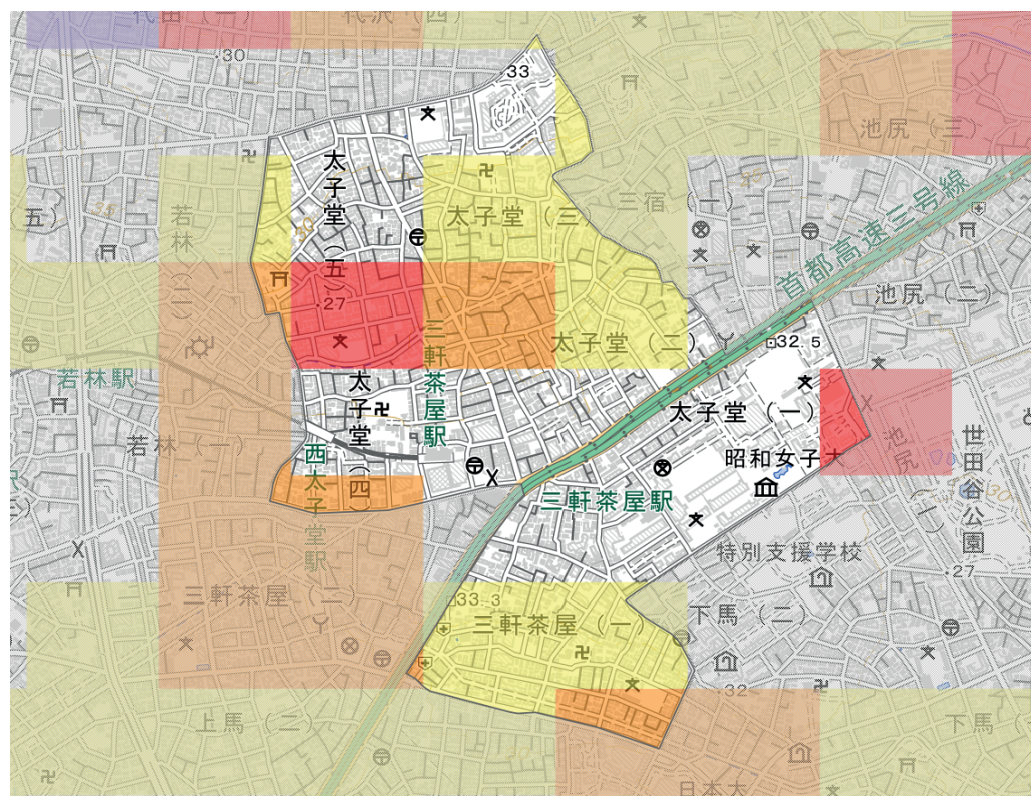
(4)被害想定

全壊棟数	155 棟	死者	17 人
半壊棟数	353 棟	負傷者	186 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	606 棟	うち重傷者	32 人

震度分布

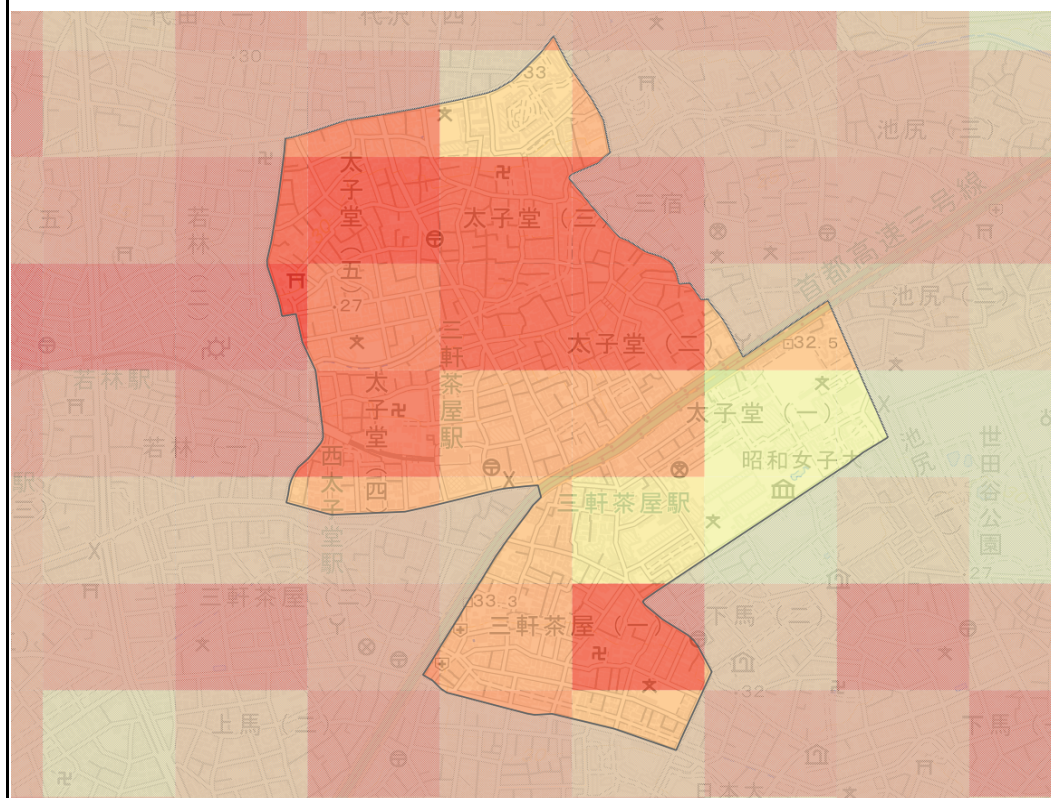


液状化分布



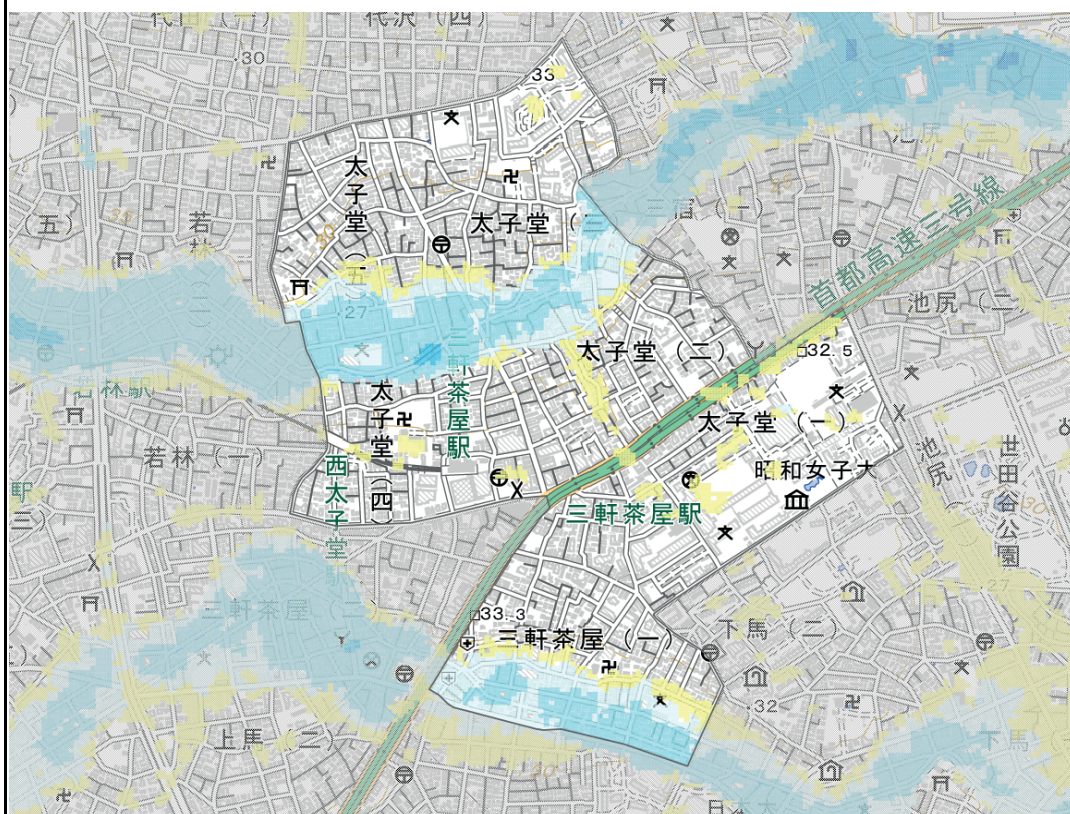
(4)被害想定

被害棟数分布

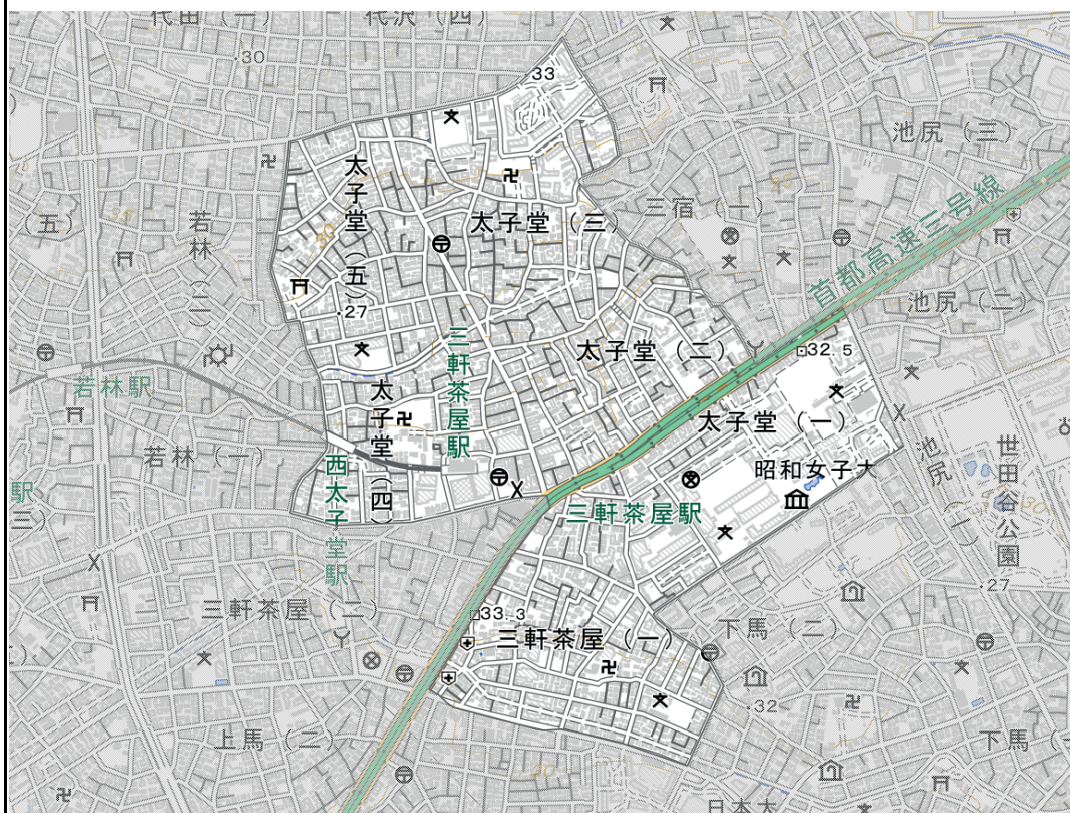


(4)被害想定

浸水想定(内水氾濫・中小河川洪水版)



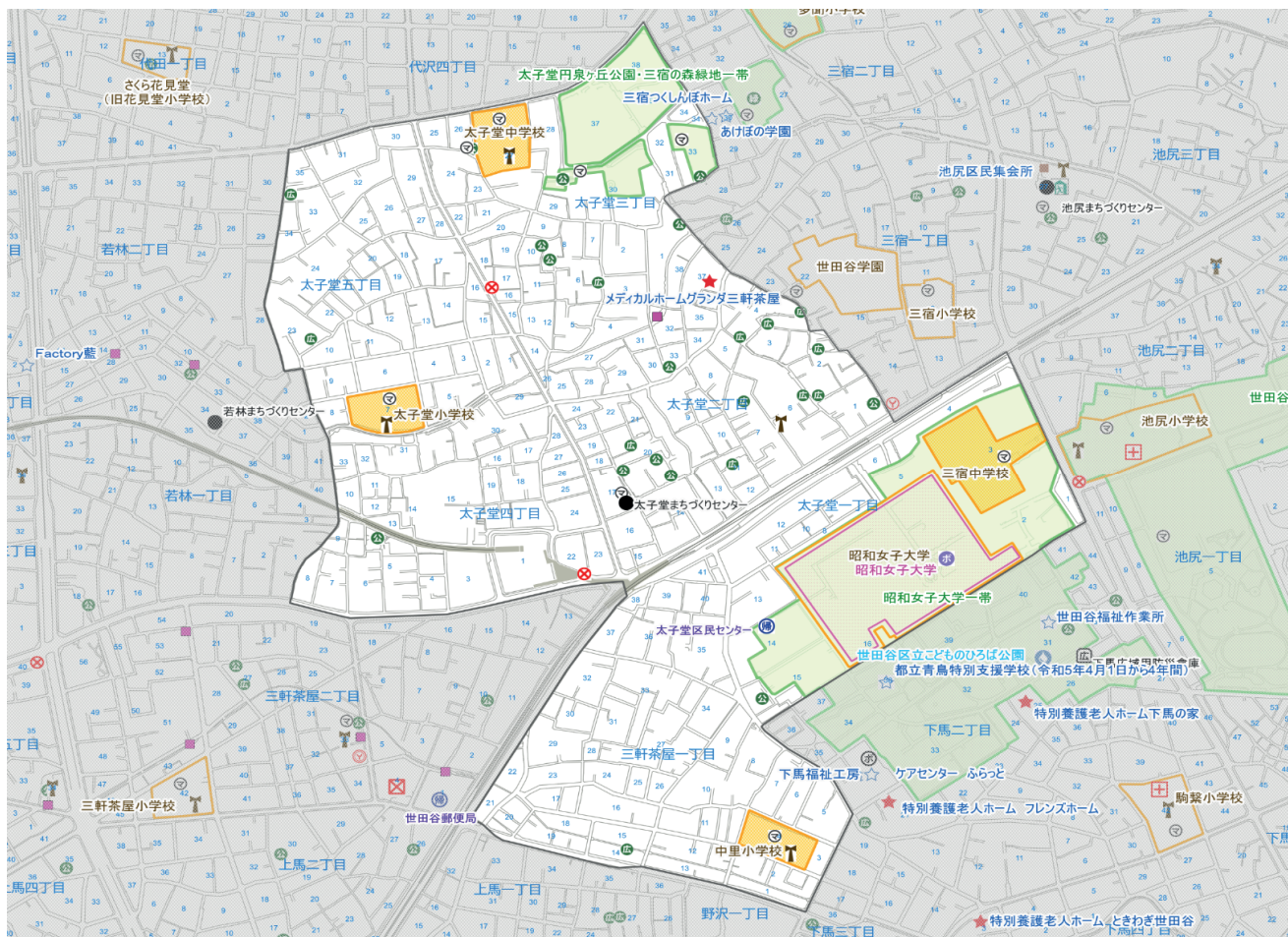
浸水想定(多摩川洪水版)



(5)防災資源一覧

広域避難場所	昭和女子大学一帯 太子堂円泉ヶ丘公園・三宿の森緑地一帯				
一時集合所	グランドヒルズ三軒茶屋 烏山川緑道(山中橋) 円泉寺 教学院 三軒茶屋ふれあい広場 昭和女子大学 西太子堂公園 太子堂2-11遊び場 太子堂小学校 太子堂中学校 太子堂八幡広場				
指定避難所	三宿中学校 太子堂小学校 太子堂中学校 中里小学校				
予備避難所	昭和女子大学				
福祉避難所(母子)	昭和女子大学				
福祉避難所(高齢者)	メディカルホームグランダ三軒茶屋				
福祉避難所(障害者)					
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)					
土砂災害時避難所					
避難所救護所					
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設					
一時避難施設(車中避難)		帰宅困難者支援施設		1	ヶ所
ボランティアマッチングセンター	昭和女子大学				
マンホールトイレ	8	防災行政無線塔	4	緑地	0
輸送拠点					
給水拠点					
広域用防災倉庫					
土のうステーション	烏山川緑道(太子堂2の32付近)				
警察署・交番	三軒茶屋交番 太子堂地域安全センター				
消防署・出張所					

(6)防災資源マップ



- | | |
|--------------------|-------------------|
| ◎ 総合支所 | ■ 広域避難場所 |
| ● まちづくりセンター | ■ 指定避難所 |
| ⊕ セタがや災害ボランティアセンター | ■ 予備避難所 |
| ⌘ 広域用防災倉庫 | ■ 福祉避難所(母子) |
| ⦿ 給水拠点 | ★ 福祉避難所(高齢者) |
| ⦿ 防災行政無線塔 | ☆ 福祉避難所(障害者) |
| ⦿ マンホールトイレ | ⬆ 水害時避難所(第1次) |
| ■ 土のうステーション | ⬆ 水害時避難所(第2次) |
| ⚠ 警察署 | ◆ 野川・仙川洪水時避難所 |
| ⚠ 交番 | ■ 水害時避難所(狛江市) |
| ⚠ 消防署 | ■ 水害時避難所(調布市) |
| ⚠ 消防出張所 | ■ 土砂災害時避難所 |
| ⦿ 身近な広場 | ⬆ 避難所救護所 |
| ⦿ 公園 | ⬆ 東京都災害拠点病院 |
| ⦿ 緑地 | ⬆ 東京都災害拠点連携病院 |
| | ⬆ 緊急医療救護所 |
| | ⬆ 一時滞在施設 |
| | ⬆ 帰宅困難者支援施設 |
| | ⬆ ボランティアマッチングセンター |
| | ⬆ 輸送拠点等 |
| | ⬆ 一時避難施設(車中避難) |

出典

世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和6年7月発行

世田谷区の町丁目別人口と世帯数 令和6年3月1日

世田谷区の年齢別人口 令和6年3月1日

世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ(多摩川洪水版、内水氾濫・中小河川洪水版)令和6年7月発行

世田谷の土地利用2021 世田谷区土地利用現況調査

世田谷区GISオープンデータ

令和2年国勢調査による 東京都の昼間人口(従業地・通学地による人口)第11表

地域危険度一覧表(地震に関する地域危険度測定調査[第9回]) 令和4年9月

首都直下地震等による東京の被害想定 報告書 令和4年5月25日

世田谷区防災マップデータ 令和6年3月

(7)区民アンケート(太子堂地区)

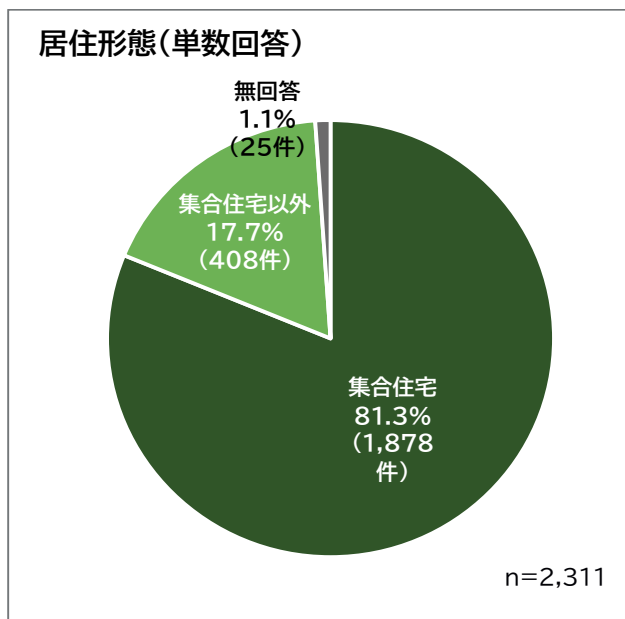
このアンケートは、今後の区内各地域及び地区における災害関連施策の検討や取組みに活用することを目的として、令和6年度に災害対策課が実施した「在宅避難支援事業(防災カタログギフト)」に合わせて行ったものである。

なお、以下に記載している回答集計結果は、カタログギフト申込者のうち、WEBで申し込みをした区民へ任意での回答を依頼し、令和6年8月9日から9月8日までに回収できた分である。

単純集計(1/5)

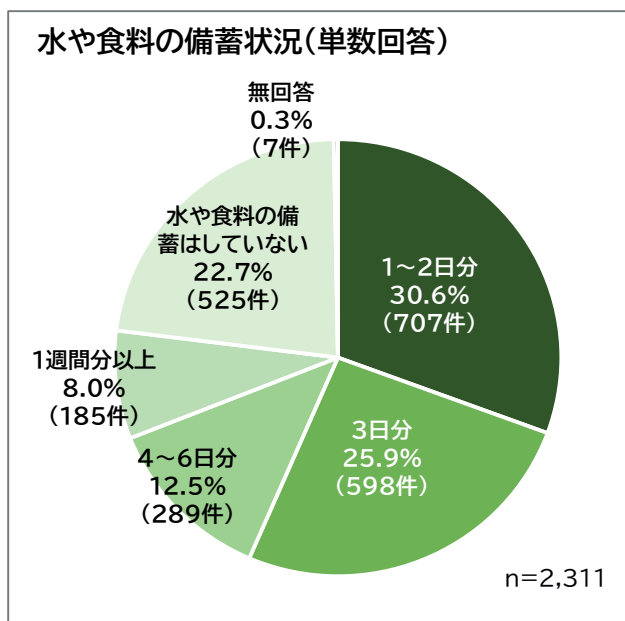
居住形態

【1】あなたはマンションなどの集合住宅にお住まいですか。



水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。



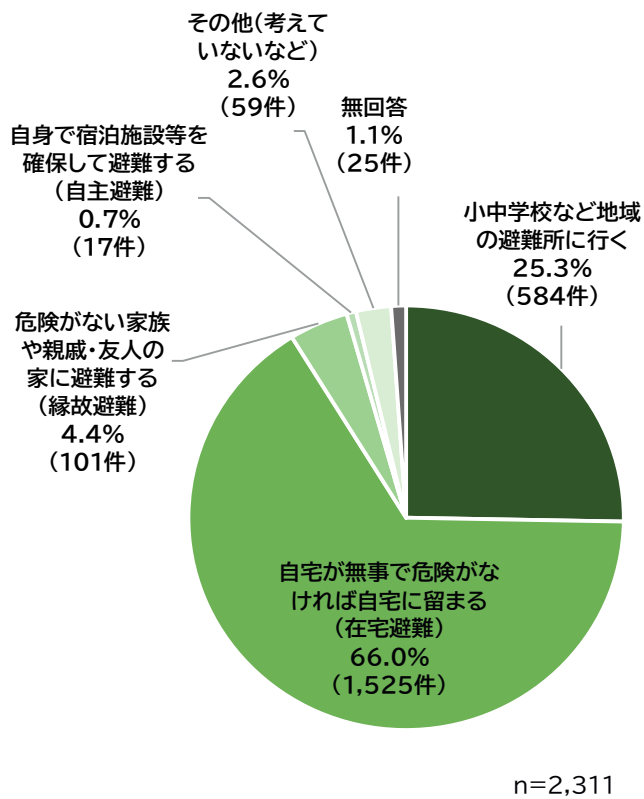
(7)区民アンケート(太子堂地区)

単純集計(2/5)

震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



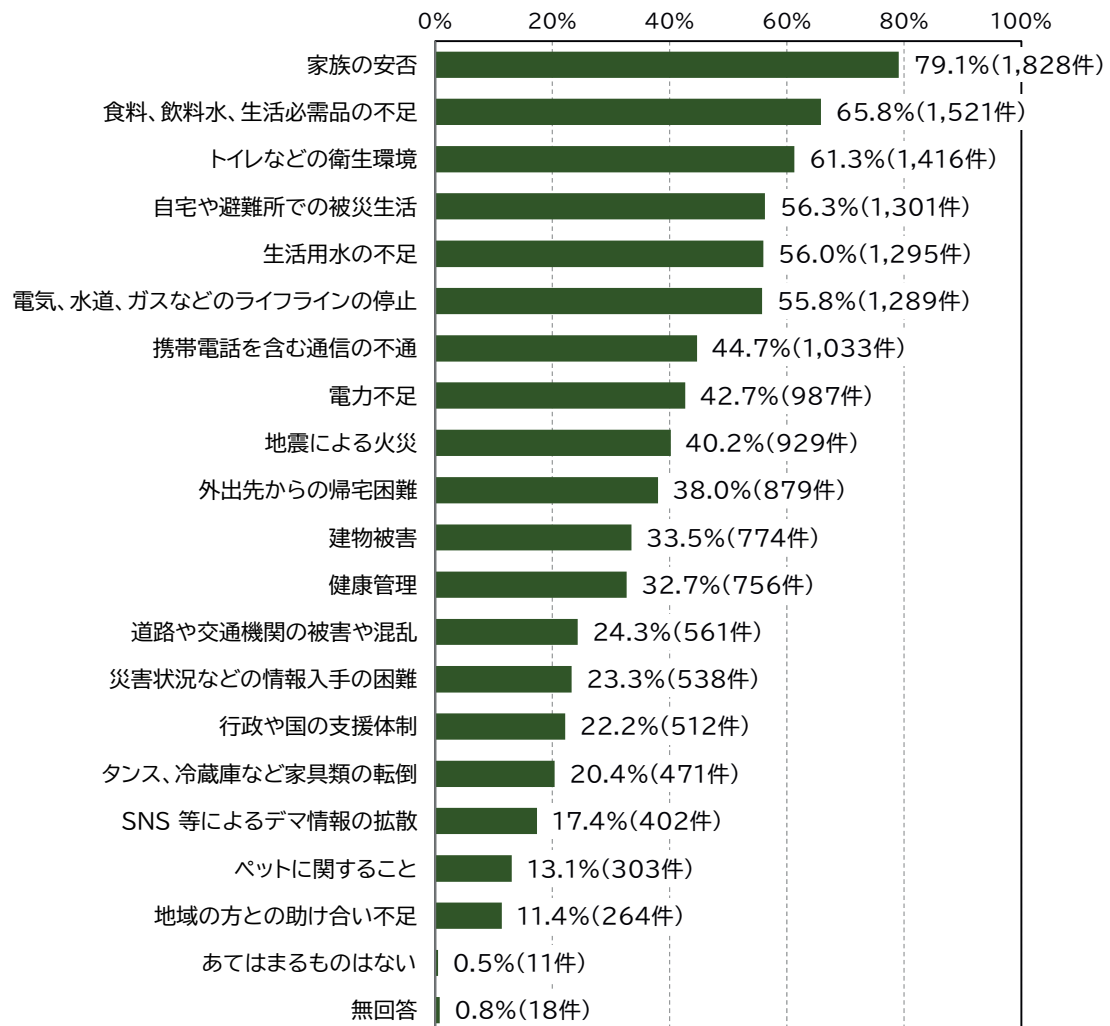
(7)区民アンケート(太子堂地区)

単純集計(3/5)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

災害時の心配ごと(複数回答)



n=2,311

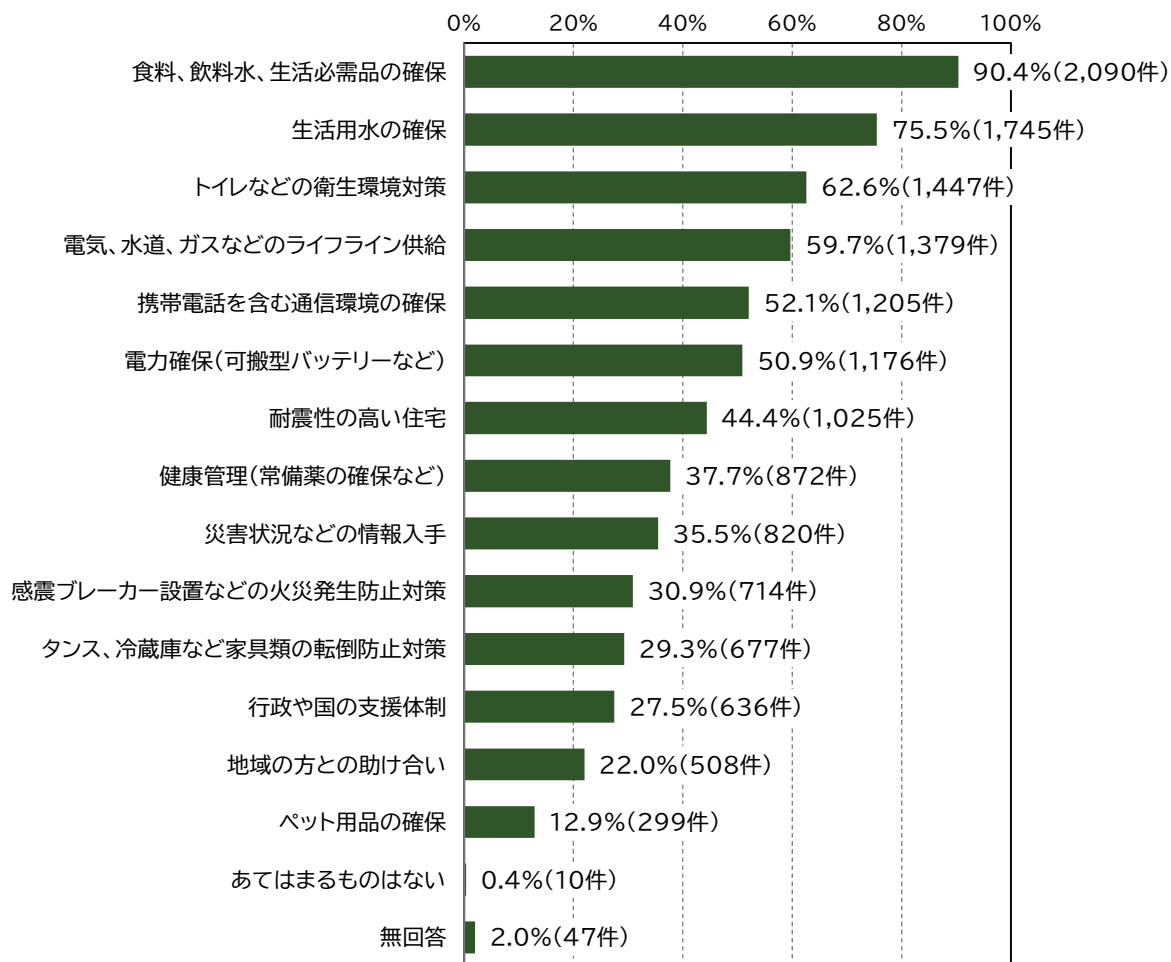
(7)区民アンケート(太子堂地区)

単純集計(4/5)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



n=2,311

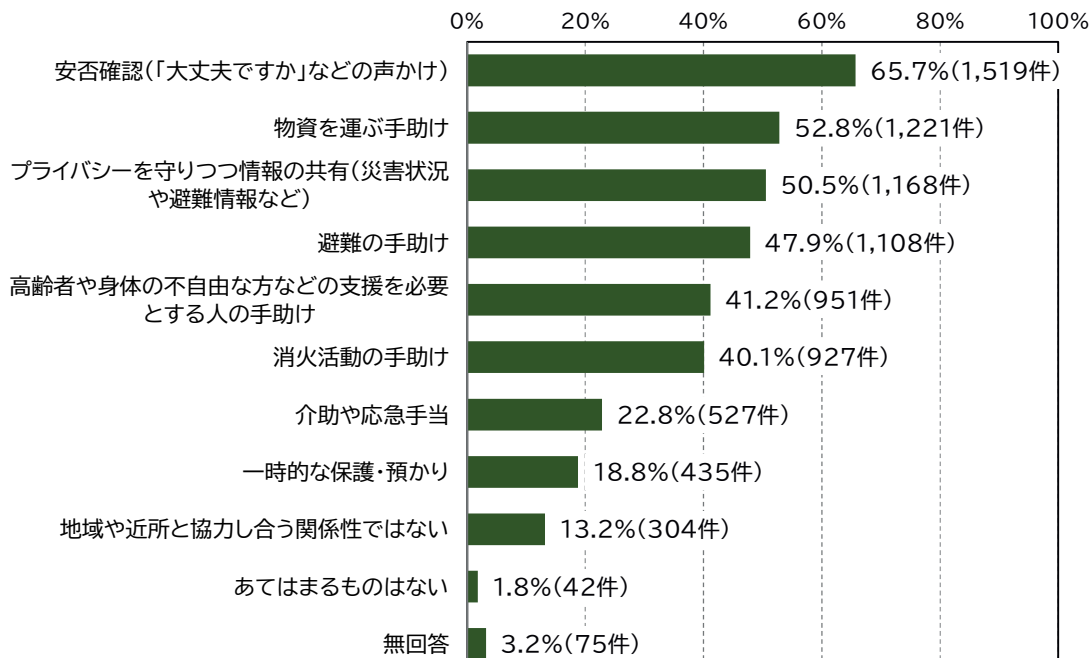
(7)区民アンケート(太子堂地区)

単純集計(5/5)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

災害時にできる住民同士の支援(複数回答)

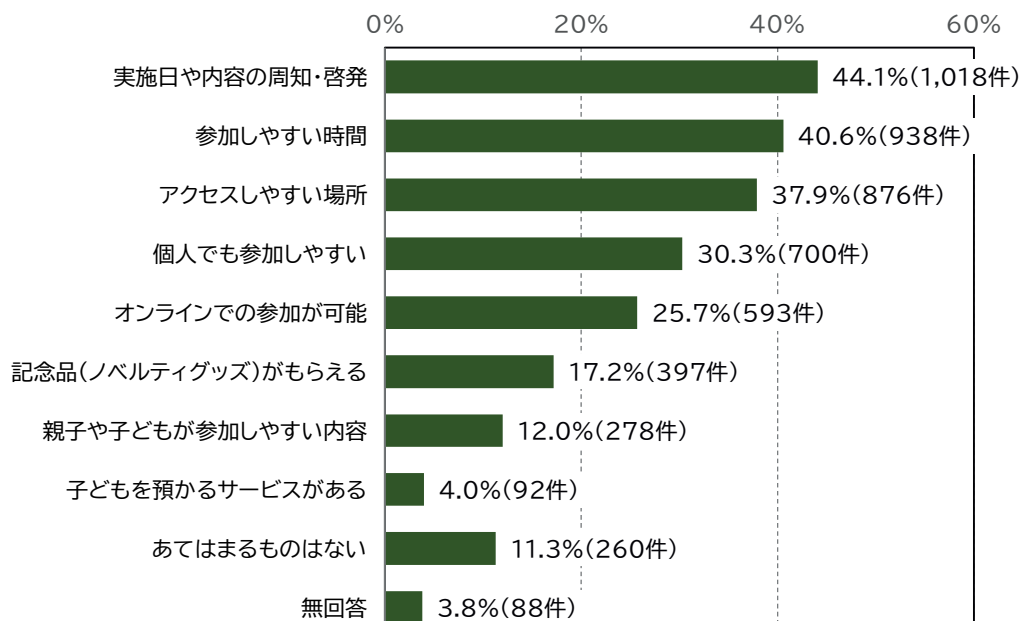


n=2,311

防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



n=2,311

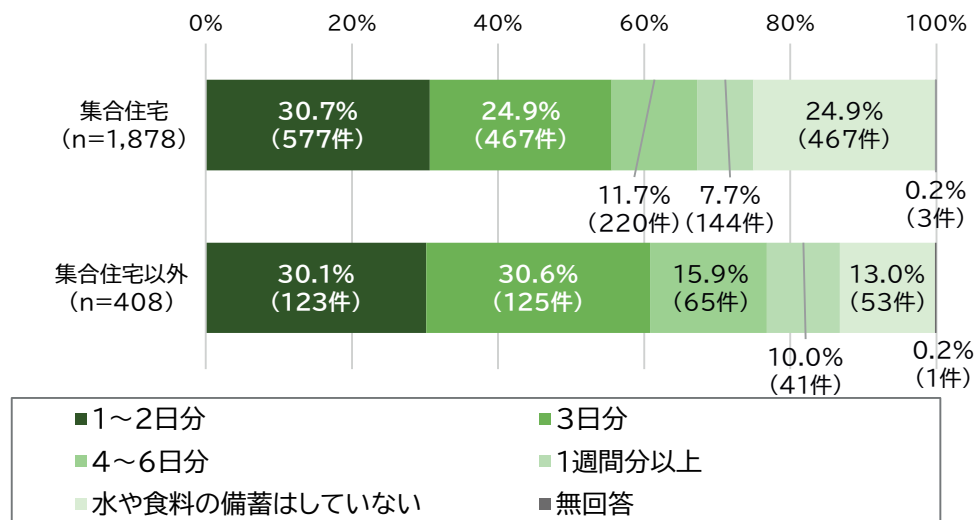
(7)区民アンケート(太子堂地区)

クロス集計(1/4)

水や食料の備蓄状況

【2】あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。

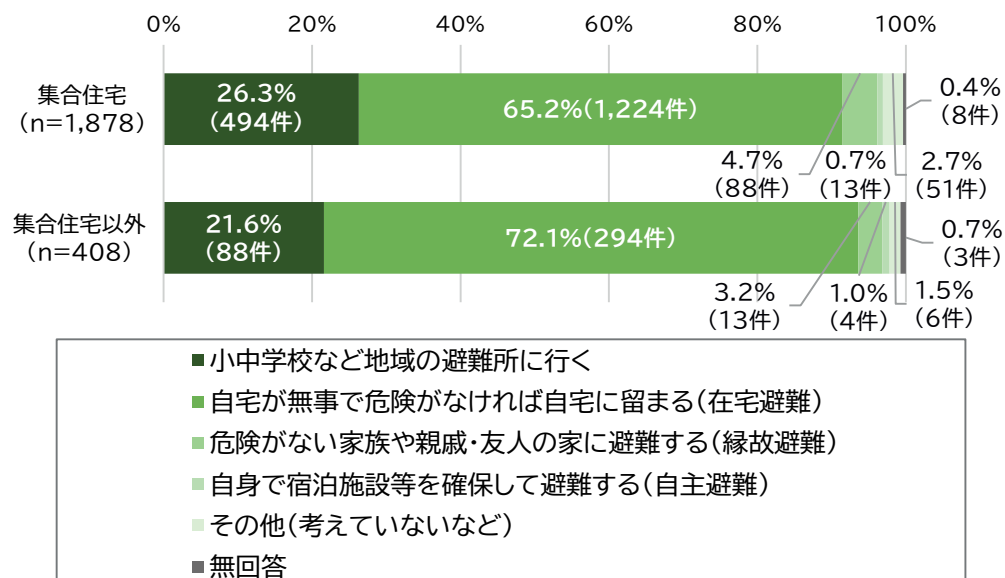
【居住形態別】水や食料の備蓄状況(単数回答)



震度6強の地震発生時の避難行動

【3】震度6強の大きな地震が発生した場合、どのような避難行動をとりますか。

【居住形態別】震度6強の地震発生時の避難行動(単数回答)



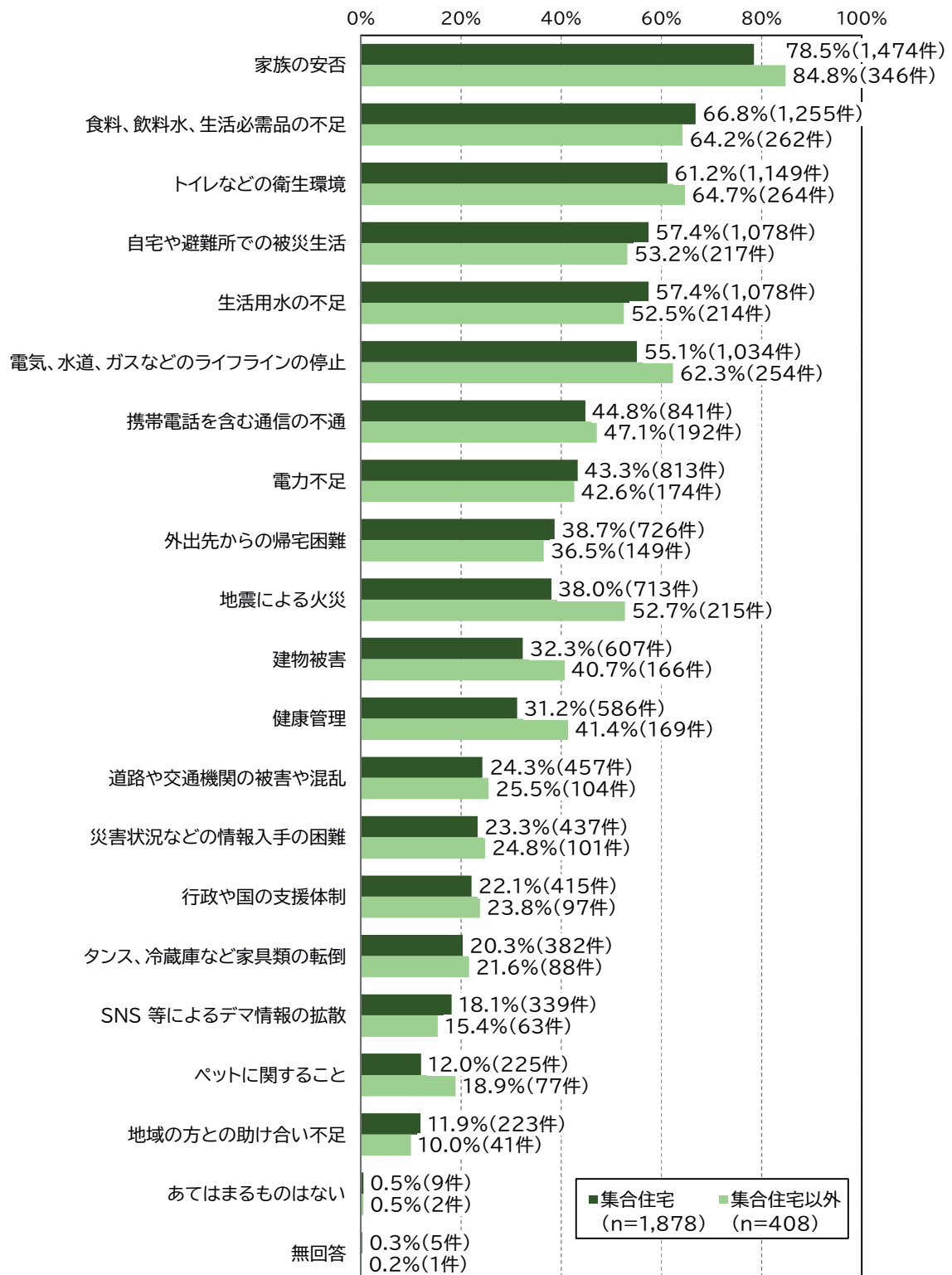
(7)区民アンケート(太子堂地区)

クロス集計(2/4)

災害時の心配ごと

【4】災害が起こった場合、どのようなことが心配ですか。

【居住形態別】災害時の心配ごと(複数回答)



(7)区民アンケート(太子堂地区)

クロス集計(3/4)

在宅避難をするために必要だと思うこと

【5】区では、震災時に自宅が安全であれば、そのまま自宅で避難生活を送る「在宅避難」を推奨しています。在宅避難をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【居住形態別】在宅避難をするために必要だと思うこと(複数回答)



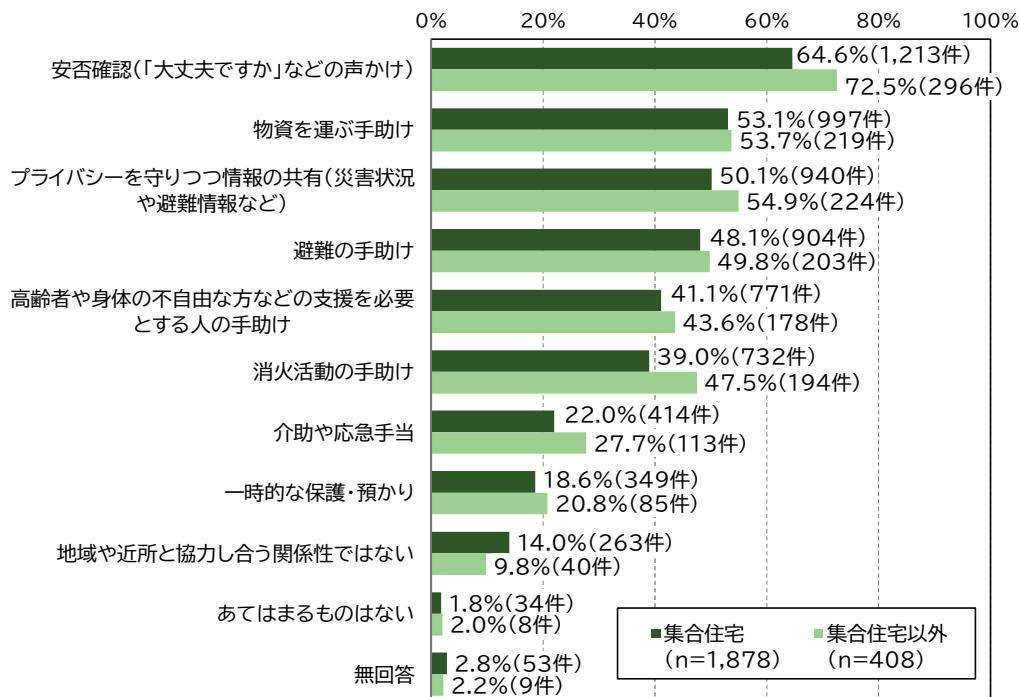
(7)区民アンケート(太子堂地区)

クロス集計(4/4)

災害時にできる住民同士の支援

【6】災害時に地域や近所の住民同士でどのような支援(手助け)ができると思いますか。

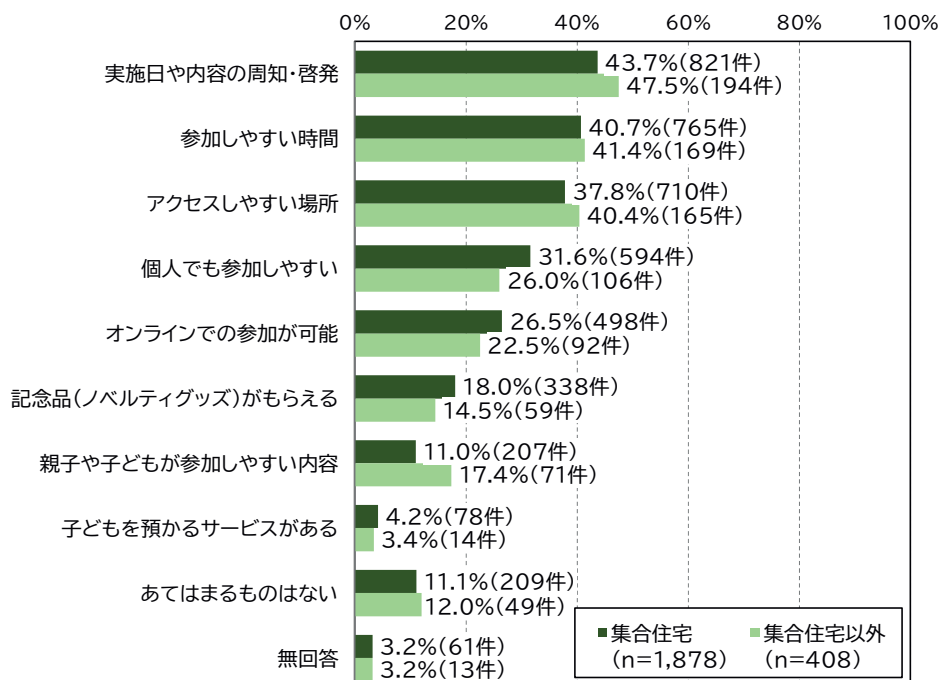
【居住形態別】災害時にできる住民同士の支援(複数回答)



防災訓練や防災教室への参加意向

【7】どのようなことがあれば、世田谷区が実施している防災訓練や防災教室に参加したいと思いますか。

【居住形態別】防災訓練や防災教室への参加意向(複数回答)



2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備			
		実施している	実施していない	会議名	(実施回数) (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ	
										数量	場所
太子堂1丁目町会	12	○		防火防災部会	12	○		○		2	太子堂1-8 堀、太子堂1-12-8も みの木保育園 倉庫
太子堂二丁目大塚町会	6	○		防火防災部会	12	○		○		2	太子堂2-11 遊び場広場
太子堂三軒茶屋町会	13	○		防火防災部会	12	○		○		2	トンボひろば 公園倉庫
太子堂下の谷町会	7	○		防火防災部会	12	○		○		1	一善橋倉庫
太子堂本町会	7	○		防火防災部会	12	○		○		3	円泉ヶ丘公園、太子堂中 学校、さくら 広場
太子堂四丁目西山町会	10	○		防火防災部会	12	○		○		3	西太子堂公園 倉庫
太子堂五丁目町会	25	○		防火・防災部会	12	○		○		1	5丁目町会ク ラブ倉庫

団体名	消火資機材の配備						防災訓練等の実施			
	D型ポンプ		消火器		その他		実施している	実施していない	防災訓練	
	数量	場所	数量	場所	名称	場所			回数	実施場所
太子堂1丁目町会	1	太子堂1丁目公園倉庫	20	町会内			○		2	三宿中学校ほか
太子堂二丁目大塚町会	2	すずむし広場倉庫	15	町会内			○		1	太子堂2-11遊び場
太子堂三軒茶屋町会	1	トンボひろば公園倉庫	1	防災倉庫			○		1	太子堂小学校
太子堂下の谷町会	1	一善橋倉庫					○		2	ひょうたん池、太子堂中学校
太子堂本町会	3	円泉ヶ丘公園、太子堂中学校、さくら広場、烏山川緑道					○		2	円泉ヶ丘公園、太子堂中学校
太子堂四丁目西山町会	2	西太子堂公園					○		1	西太子堂公園
太子堂五丁目町会	2	烏山川緑道防災倉庫、5丁目町会クラブ倉庫					○		1	太子堂八幡広場

団体名	防災訓練等の実施				防災マップ											
	救命救急講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							
	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	その他
太子堂1丁目町会							○									
太子堂二丁目大塚町会					○				○	○	○	○	○	○	○	AED
太子堂三軒茶屋町会	1	太子堂小学校	太子堂地区合同防災訓練	太子堂小学校				○								
太子堂下の谷町会			太子堂地区合同防災訓練	太子堂小学校				○								
太子堂本町会			太子堂地区合同防災訓練	太子堂小学校	○				○	○	○	○	○	○	○	
太子堂四丁目西山町会			太子堂地区合同防災訓練	太子堂小学校				○								
太子堂五丁目町会	3年毎	5丁目町会クラブ	サバイバルキャンプ、太子堂地区合同防災訓練	太子堂小学校または太子堂中学校				○								

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要 支援者協定			避難行動要 支援者対策				
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない	日頃からの見守り活動	要支援者体験	避難行動 その他	特に実施していない
太子堂1丁目町会	2		0				○				○					○
太子堂二丁目大塚町会	2		0				○			○			○			
太子堂三軒茶屋町会	1		1				○			○						○
太子堂下の谷町会	0		2		○			下の谷睦会		○			○			
太子堂本町会	1		1				○			○			○	○		
太子堂四丁目西山町会	1		1				○			○			○			
太子堂五丁目町会	1		1				○					○				○

団体名	連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				名称	救出救助に係る資機材の配備								
	簡易無線	作成・整備 連絡網の	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし		配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット
太子堂1丁目町会			特になし		○					○	1	1		1	2	10	
太子堂二丁目大塚町会	○	○					○			○	2	1	1	2	1	10	1
太子堂三軒茶屋町会		○					○			○	1			3	1	10	1
太子堂下の谷町会		○					○			○	1	0	0	2	1	5	1
太子堂本町会		○					○			○	3		1	2	1	15	1
太子堂四丁目西山町会		○					○			○	1		1		1	10	1
太子堂五丁目町会		○					○			○	2		2	2	1	10	1

団体名	救出救助に係る資機材の配備									食糧等の備蓄							
	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類
太子堂1丁目町会	1	3		1	1	1		台車外	太子堂一丁目公園防災倉庫		○		○		○		○
太子堂二丁目大塚町会									太子堂2-11遊び場倉庫	○				○	○		
太子堂三軒茶屋町会									トンボひろば公園倉庫		○		○		○		
太子堂下の谷町会	1	1		1	1	1	1		一善橋倉庫		○			○	○		
太子堂本町会								台車外	円泉ヶ丘公園、さくら広場、烏山川緑道		○				○	○	○
太子堂四丁目西山町会									西太子堂公園倉庫		○		○				
太子堂五丁目町会	2	4	2			1			5丁目町会クラブ倉庫	○							

団体名	食糧等の備蓄										その他の防災活動
	カセットコンロ	災害その他 用食料	非常用トイレ	照明	発電機	蓄電池セット	給水タンク	その他	保管場所	備蓄品 配布先	
太子堂1丁目町会		○	○	○		○		衛生用品	会長宅		研修等に参加
太子堂二丁目大塚町会					○	○			太子堂2－11遊び場倉庫		
太子堂三軒茶屋町会									トンボ広場公園倉庫		
太子堂下の谷町会	○			○	○				一善橋倉庫		
太子堂本町会	○			○	○		○		さくら広場、円泉ヶ丘公園		
太子堂四丁目西山町会				○					西太子堂公園倉庫		
太子堂五丁目町会											

3. 太子堂地区の課題と今後の取り組み

課題1 火災への備え

■意見

- ・ 消火器やスタンドパイプが十分に配備されていない区域があり、使い方を知っている人も少ない。
- ・ 消火栓や防災井戸の場所が周知されていない。使える状態なのかわからない。
- ・ 消火栓の蓋が重く、管理されているかどうかかわからない。
- ・ 防火水槽や貯水槽が少ない。
- ・ 町会に加入していない小規模マンションや古い家の状況が不明である。
- ・ 防災訓練の参加者が少ない。
- ・ 平日の夕方に在宅している人が少ない。
- ・ 木造密集地ならではの不安がある。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① 消火器、バケツ等を各家庭で配備するよう周知を行う。
- ② 地区防災訓練などの機会に初期消火訓練を行うとともに、防災訓練への新規参加者を増やすために、小中学生や保護者など若年層を対象にした防災訓練を実施する。
- ③ 消火栓や防火水槽等の位置を防災マップに掲載し、周知を行う。
- ④ 女性消防団や女性防災コーディネーターの増員に努める。
- ⑤ 電源ブレーカーを落としてから避難する。
- ⑥ 感震ブレーカーや消火器などは区の防災用品のあっせんの周知を行う。

課題2 被害状況・安否の確認

■意見

- ・ 地区の防災区民組織に若い人が少なく、マンパワーが不足している。
- ・ 車両の火災や混雑、駅から人があふれるなど道路の横断等に支障がある。
- ・ 町会に加入していない人の情報がわからない。
- ・ 住民の中には、支援を拒否する人がいる。
- ・ 住民に高齢者が多く、見回りが難しい。
- ・ 安否確認のための連絡手段が少ない。
- ・ 防災無線放送が聞き取りにくい。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① 日頃より隣近所で声を掛け合うことや、「顔の見える関係を作る」という視点からイベントを実施していく。
- ② 民生委員と協力して安否確認する。
- ③ 地区内の防災マップを作成・配布し、日頃から備えるための材料としてもらう。
- ④ 身の回りの危険箇所など、よく行くエリアをそれぞれ確認し、話しあうよう防災訓練等で呼びかける。
- ⑤ 自助・共助の重要性を周知するとともに状況にあった安否確認の方法を模索する。

課題3 避難行動要支援者対策

■意見

- ・ 車椅子やリヤカーなど避難行動要支援者を移動させる手段が少ない。
- ・ 避難行動要支援者の情報が地域で共有されていない。
- ・ 避難行動要支援者の収容施設がない。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① 日頃から避難行動要支援者の状況を把握し、搬送先を確認する。
- ② 安否確認カードの普及啓発を図る。

課題4 負傷者等の救出・救護

■意見

- ・ 帰宅困難者で246号線が混雑する。
- ・ 太子堂中学校に避難するには坂がきつい。
- ・ 近隣に医療救護所がない。
- ・ 道路が狭く、救急車が入らない。
- ・ 救出するための道具が少ない。
- ・ 暗さに対する対策が不足している。
- ・ 防災物品を置く場所が少ない。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① 地域の若い人の協力を得る。
- ② ランタン等を配備する。
- ③ 負傷を避けるため、自宅にヘルメットを備えておく。
- ④ 園児や児童は、保護者が迎えに来るまで待機する。

課題5 物資(水や食料、燃料等)の備え

■意見

- ・ 冬期に暖房の確保が困難である。
- ・ 保育園等で使用していない毛布を借用する。
- ・ 備蓄については、PR方法も検討する。
- ・ 毛布や防寒シートなどは、各自、家庭から持ち込む。
- ・ アンケートから 3 日分以上の水・食料の備蓄をしている人は半数程度にとどまり、全く備蓄をしていない人も 2 割程度であった。
- ・ アンケートでは家族の安否について、水・食料、トイレに関する不安を感じている人が多かった。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① 自助が基本であり、最低限の備蓄は各自で備える。
- ② 在宅避難に向けて各自で7日分を目安に、水、食料、トイレほか必要なものを備蓄するように、回覧など周知啓発を行う。
- ③ 防災マップを用いて応急給水拠点や地域の井戸水提供の家を周知する。
- ④ 情報取得のためのラジオの重要性や区防災ポータルの活用を周知する。

課題6 避難所の開設

■意見

- ・ 帰宅困難者も来るので、人数把握が難しい。
- ・ 避難所の収容は限定的であり、できるだけ在宅避難をする。
- ・ アンケート結果では4人に1人が「住宅が無事でも避難所を利用する」と回答している。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① 避難所運営訓練を通じてイメージトレーニングする。
- ② 防災の専門家と連携して、課題を明確化していく。
- ③ 避難所運営訓練を継続して実施する。
- ④ 在宅避難している人数を把握し、避難所で食事等を受け取れる態勢を構築する。
- ⑤ 在宅避難の啓発を行う。

課題7 地域の連携とコミュニケーション

■意見

- ・ 医療関係者との協力体制が構築されていない。
- ・ 地区の防災区民組織に若い人が少なく、マンパワーが不足している。(再掲)
- ・ 防災訓練の参加者が少ない。(再掲)

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ① PTAやおやじの会、昭和女子大や日大の学生など若い人の協力を得る。
- ② 建設団体防災協議会や工務店など建築関係者と連携する。
- ③ 日頃から商店街と協力する。
- ④ 消防署との情報共有を進める。
- ⑤ 関連する地域の団体や学校、消防団、警察、消防、病院との連携方法を模索する。

